

別紙 1

1 いじめられた児童のサイン（チェックリスト）

いじめられた児童は自分から言い出せないことが多い。複数の教職員が、複数の場面で児童を観察し、小さなサインを見逃さないことを大切にする。

場 面	サ イ ン
登校時 朝のSHR	遅刻・欠席が増える。その理由を明確に言わない。
	教職員と視線が合わず、うつむいている。
	体調不良を訴える。
	提出物を忘れたり、期限に遅れたりする。
	担任が教室に入室後、遅れて入室してくる。
授業中	保健室・トイレに行くようになる。
	教材等の忘れ物が目立つ。
	机の周りが散乱している。
	決められた座席と異なる席に着いている。
	教科書・ノートに汚れがある。
	教職員や児童の発言などに対して、突然個人名が出される。 これといった理由がないのに学習成績が急に下がる。
休み時間等	用のない場所にいることが多い。
	ふざけ合っているが表情がさえない。
	衣服の汚れ等がある。
	一人で清掃している。 保健室によく出入りする。
放課後等	慌てて下校する。または、用もないのに学校に残っている。
	持ち物がなくなったり、持ち物にいたずらされたりする。
	一人で下校している。

2 いじめた児童のサイン（チェックリスト）

いじめた児童がいることに気が付いたら、積極的に児童の中に入り、コミュニケーションを増やし、状況を把握する。

	サ イ ン
	教室等で仲間同士で集まり、ひそひそ話をしている。
	ある児童にだけ、周囲が異常に気を遣っている。
	教職員が近づくと、不自然に分散したりする。
	自己中心的な行動が目立ち、集団の中心的な存在の児童がいる。

別紙 2

1 教室でのサイン（チェックリスト）

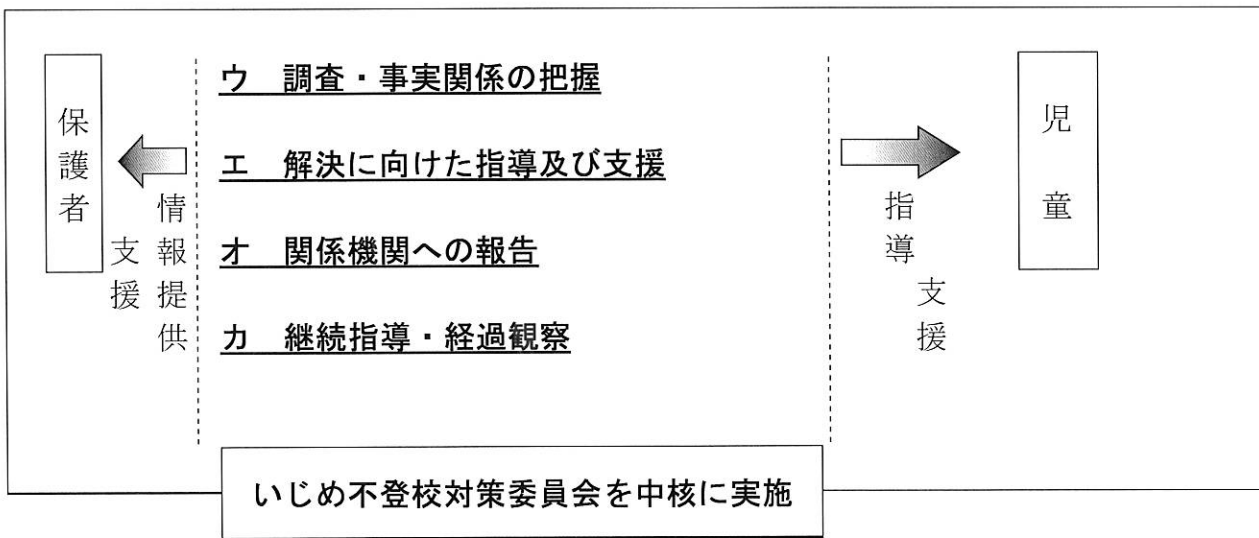
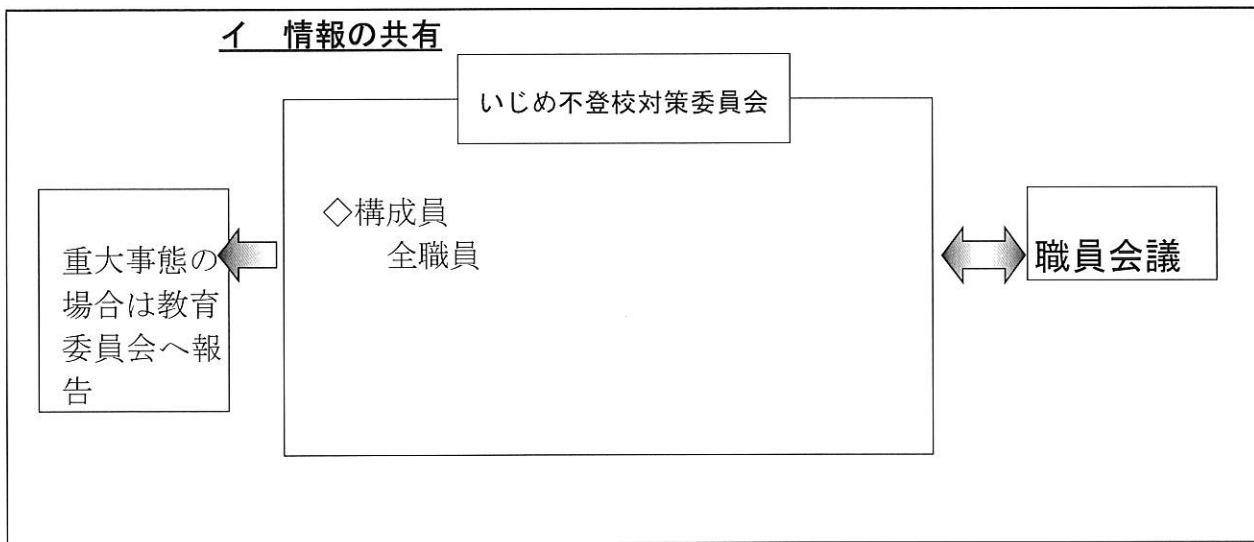
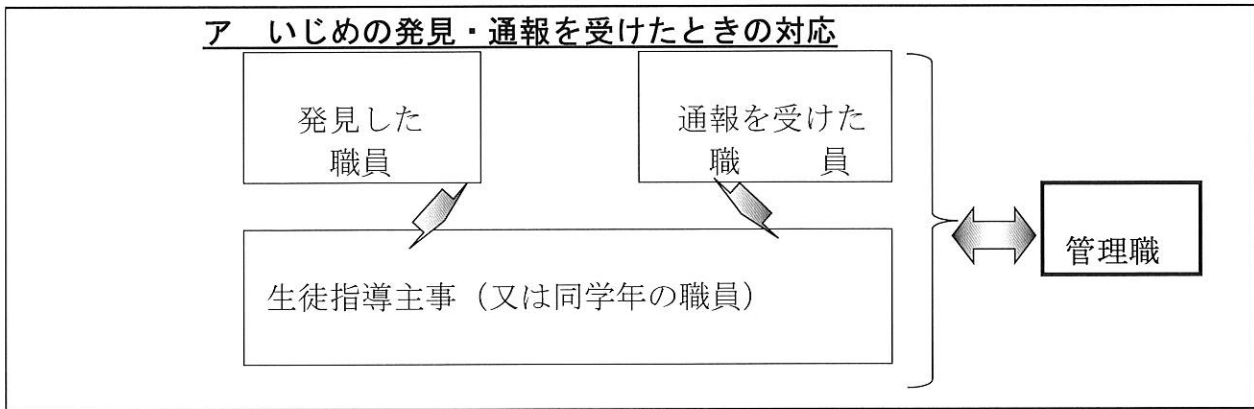
教室内がいじめの場所となることが多い。教職員が教室にいる時間を増やしたり、休み時間に廊下を通る際に注意を払ったりするなど、サインを見逃さないようにする。

	サイン
	嫌なあだ名が聞こえる。
	席替えなどで近くの席になることを嫌がる。
	何か起こると特定の児童の名前が出る。
	筆記用具等の貸し借りが多い。
	壁等にいたずら、落書きがある。
	机や椅子、教材等が乱雑になっている。

2 家庭でのサイン（チェックリスト）

家庭でも多くのサインを出している。児童の動向を振り返り、確認することでサインを発見しやすい。以下のサインが見られたら、学校との連携が図れるよう保護者に伝えておくことが大切である。

	サイン
	学校や友人のことを話さなくなる。
	友人や学級の不平・不満を口にすることが多くなる。
	朝、起きてこなかったり、学校に行きたくないと言ったりする。
	電話に出たがらなかったり、友人からの誘いを断ったりする。
	遊ぶ友達が急に変わる。
	部屋に閉じこもったり、家から出なかったりする。
	理由のはっきりしない打撲や擦り傷がある。
	登校時刻になると体調不良を訴える。
	食欲不振・不眠を訴える。
	理由のはっきりしない衣服の汚れがある。
	学習時間が減る。
	成績が下がる。
	持ち物がなくなったり、壊されたり、落書きされたりする。
	自転車がよくパンクする。
	家庭の品物、金銭がなくなる。
	大きな額の金銭を欲しがる。



小林市立細野小学校いじめ防止基本方針の概要

〈いじめ問題への学校の目標〉
 ○ 全職員が、いじめ問題を深刻にとらえ、「どこの学校にも、どの学級にも起こり得る問題」という認識をもつとともに、いじめを見逃さない校内体制を整え、いじめ問題に対して、組織的に万全の体制で臨みます。

【ハートフル委員会(いじめ・不登校対策委員会)】
 (活動) 学校いじめ防止基本方針作成・見直し、いじめ防止等に関する年間指導計画の作成、校内研修会の企画検討、「ふれあいアンケート」の結果、報告等の情報の整理・分析、いじめが疑われる案件の事実確認・対応等への支援方針決定 等
 (構成) 全職員

家庭との連携
 ・参観日、家庭訪問
 ・PTA総会、専門部会
 ・アンケート調査

学校の取組

【未然防止】
 ○ 児童が主体となった活動の充実
 ○ ソーシャルスキルトレーニングを取り入れた人間関係づくり
 ○ 自己有用感を育む授業づくり

【早期発見】
 ○ アンケートの実施
 ○ 定期的な教育相談実施
 ○ 教職員間の話しやすい雰囲気づくり

【措置】
 ○ 被害者、加害者等への適切なケア及び指導
 ○ 職員の情報の共有と組織的な対応、再発防止

【重大事態への対処】
 ○ 市教育委員会への報告(事実確認)
 ○ 警察署等との連携

市・県教育委員会との連携
 ・報告、連絡、相談
 ・指導主事の要請・派遣
 ・専門家委員会の活用

地域との連携
 ・青少年育成協議会
 ・学校運営協議会
 ・オープンスクール
 ・ホームページ掲載
 ・スポーツ少年団
 ・見守り隊

関係機関等との連携
 ・警察署
 ・児童相談所
 ・子育て支援課(家庭児童相談室)
 ・医療
 ・臨床心理士やSSW

〈いじめ防止年間指導計画〉

	いじめ防止のための措置		いじめの早期発見の措置	その他
	児童が主体となった活動	教職員が主体となった活動	対策委員会が主体となった活動	
4月	○登校班長会	○PTA総会での説明 通信(学校・学級懇談(参観日) 学級・生指)	○年間の活動計画の検討	
5月	○遠足や集団宿泊学習の交流		○アンケート調査・分析①	○学校運営協議会
6月	○中学校生活体験	○全校懇談(参観日)		○中学校区連絡協議会
7月	○縦割遊び(異学年)	○教職員の意識調査① ○学級懇談(参観日)	○1学期前半の取組の総括・1学期半に向けての確認	
8月				
9月	○運動会の練習(応援等)による異学年交流		○アンケート調査・分析②	
10月		○オープンスクール(1日)	○1学期の取組の総括・2学期に向けての確認	○学校運営協議会
11月	○修学旅行での交流 ○中学校生活体験			
12月	○保育士体験(5年)	○教職員の意識調査② ○人権教育週間の設定	○県一斉アンケート調査 ○2学期前半の取組の総括・2学期後半に向けての確認	
1月	○縦割遊び(異学年)	○人権教育授業研究会(6年)	○アンケート調査・分析③	
2月	○立志の集い ○細野保育園児との交流会(1年)	○学級懇談(参観日)		○学校運営協議会 ○中学校区学校運営協議会
3月	○お別れ遠足での異学年交流 ○地区児童会	○教職員の意識調査③	○年間の取組の総括・次年度に向けての確認 ○次年度へ向けての引き継ぎ	
通年	○ボランティア活動の推進 ○学級活動での話し合い活動の実施 ○縦割り清掃活動の実施 ○クラブ活動での交流	○一人一人の実態に応じたわかる授業の展開	○児童の発するサインの作成と共有 ○職員会議での情報共有 ○過去のいじめ事例の蓄積	○警察署等との連携
月1回	○委員会活動の実施	○ハートフル委員会の実施	○アンケートの実施 ○ハートフル委員会の実施	○市教育委員会への報告
学期1回		○道徳教育や情報モラル教育の時間設定 ○通信等によるいじめ防止活動の報告		